

第12回 北九州市 女性活躍・ワークライフバランス表彰

第1回 平成19年度	団体部門	市長賞	医療法人財団 はまゆう会 新王子病院 株式会社グリーン 社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム 株式会社三井ハイテック 医療法人 寿芳会 芳野病院	
		奨励賞	北九州商工会議所 女性会	
		個人部門	市長賞	高橋 素子(三萩野病院)
			奨励賞	緒方 有為子(福祉用具プラザ北九州)

第6回 平成24年度	団体部門	市長賞	株式会社ソルネット 株式会社陽和
		奨励賞	株式会社ゴトウ 時計・宝石・めがねのヨシダ
		市長賞	伊藤 初江(新日鉄住金エンジニアリング株式会社) 杉井 隆造(株式会社安川電機)
	個人部門	奨励賞	有馬 広海(済生会八幡総合病院) 南 充子(北九州ヘルパーステーション) 元重 香代(住宅設備施工会社)

第2回 平成20年度	団体部門	市長賞	医療法人 真鶴会 小倉第一病院 社会医療法人 製鉄記念八幡病院(旧 新日鉄八幡記念病院) 株式会社安川電機 社会福祉法人 容風会 総合福祉施設 おきなのだ 日本コンピュータ株式会社	
		奨励賞	社会福祉法人 西日本至福会	
		個人部門	市長賞	杉井 千春(株式会社安川電機)
			奨励賞	本山 晴子(北九州ワーキングマザーネットワーク)

第7回 平成25年度	団体部門	市長賞	みずほ証券株式会社 北九州支店 山九株式会社 プラント事業部
		奨励賞	学校法人 清庵学園 清和幼稚園 株式会社不動産のデパートひろた
	個人部門	市長賞	郷田 郁子(株式会社ヴィンテージ)

第3回 平成21年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 株式会社新菱
		奨励賞	コンダクト株式会社 株式会社不動産中央情報センター
	個人部門	市長賞	藤田 淳子・修一夫妻(有限会社ゼムケンサービス)

第8回 平成26年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 龍王会 洗心保育園 社会福祉法人 もやい聖友会
		奨励賞	株式会社 北九州銀行
	個人部門	市長賞	森 豪(食品等卸会社) 篠原 聡子(大門薬品)

第4回 平成22年度	団体部門	市長賞	独立行政法人 地域医療推進機構九州病院(旧 九州厚生年金病院) 富士通コミュニケーションサービス株式会社 北九州サポートセンター 社会福祉法人 敬寿会 美咲ヶ丘
		奨励賞	
	個人部門	市長賞	杉 信市(杉建築設計事務所) 松井 真理子(医療法人真鶴会 小倉第一病院)

第9回 平成27年度	団体部門	市長賞	株式会社ウキシロケアセンター 株式会社スターフライヤー
		奨励賞	三菱化学株式会社 黒崎事業所
	個人部門	市長賞	梯 輝元(中屋興産株式会社)

第5回 平成23年度	団体部門	市長賞	有限会社ゼムケンサービス 社会福祉法人 恩賜財団済生会 済生会八幡総合病院
		奨励賞	社会福祉法人 北九州あゆみの会
	個人部門	奨励賞	荒木 晴美(TOTO株式会社) 川原 英明(北九州農業協同組合)

第10回 平成28年度	団体部門	市長賞	セレーノ株式会社 日本鉄塔工業株式会社 若松工場
		奨励賞	計測検査株式会社 株式会社安川ロジステック
	個人部門	奨励賞	大谷 竜也(小倉経済新聞編集長) 北川 ひかり(株式会社フムフム)

第11回 平成29年度	団体部門	市長賞	西部ガス株式会社 北九州支社 学校法人 ひかり学園 曾根ひかり幼稚園
		奨励賞	株式会社ソル
	個人部門	奨励賞	橋本 和宏(プレイヤーズオフィス太陽と月 代表)



これまでの「働き方」を、
これからの「働き方」へ

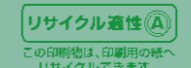
【北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰】は第11回より名称が変わりました。



北九州市 総務局女性の輝く社会推進室 女性活躍推進課 共催：北九州商工会議所

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

☎093-582-2209 北九州市女性活躍WLB表彰



北九州市印刷地金登録番号1807020C号

2018年度
北九州市 総務局 女性の輝く社会推進室

ワーク・ライフ・バランスは、仕事と生活に、よりいっそうの生きがいと喜びをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、子育てや介護、自己啓発の時間、地域との関わりを持てる。そんな調和の取れた生活を推進・実践している企業・団体や個人を表彰しました。



株式会社デンソー九州 代表取締役社長 柳下 制也

【業種】輸送用機器製造業 【所在地】八幡西区本城5-4-1 【従業員数】936人(うち女性155人)

「女性活躍推進」から「働き方」意識変革へ！製造業における「誰もが活躍できる働きやすい職場づくり」のモデルケースに！

トップダウンとボトムアップを融合させた組織体制を確立、「女性・若年者活用推進全社プロジェクト」を立ち上げ社長ニーズをくみ上げながら柔軟な制度構築が進んでいる。

「育児休業制度改定による男性育休の促進」、「製造部門での短時間勤務」「夜勤専門派遣の導入」などの取組みを実施。会社運営にも好影響を与えているという実感が、経営・管理職層だけでなく、一般社員にも定着したことで「働き方」の意識が変わってきた。

製造業における働き方改革を、経営層と現場で働く社員がともに考える方法が実を結んだことで、グループ全体におけるベンチマーク先としても改革を推進している。



異島電設株式会社 代表取締役 異島 洋

【業種】電気工事事業 【所在地】戸塚区新井3-18 【従業員数】16人(うち女性4人)

「当たり前」や「できることから」が自然に根付いた慣行と社内風土が働きやすさと女性の活躍を後押し

人材不足が顕著な課題となっている業界において、性別を問わず、人材の確保・定着できる会社にしていきたいという思いから、女性役員の理解と中小企業ならではの柔軟性を生かして「できること」から積極的に展開。下請け業者にも理解を得ながら、現場での健康管理や安全配慮にも徹底した管理を行うことで、市内の中小企業として初めて「健康経営優良法人」の認定を受ける。また、子育て世代に対して、出勤時間短縮や託児場所としての機能を会社が果たすなど、ごく自然に協力体制が風土として根付いている。無理のない取り組みが、女性工事士の採用や女性役職者の登用、男性育児休業取得などにつながっている実態は、小規模事業所が取り組む上でのモデルケースとして期待したい。



特徴的な取組み内容

- ・2年連続「健康経営優良法人」認定
- ・女性役職者の登用で、内勤と現場サイドとのコミュニケーションを活性化
- ・男性育児休業の取得や女性電気工事士採用などの実績で、世代間ギャップの強い「働き方」の意識改革を推進



綿瀬 麻意子

【住所】戸塚区 電気等/アクセサリブランドオーナー

「ライフシフト」で自分らしく紡いでいく人生100年時代における女性の生き方、働き方のロールモデル

夫と娘の3人家族、「Itoya.M」代表。出産後、夫の転勤や母の病氣、育児が重なり産後鬱を経験。「私が私でいるために何かはじめよう」と抱いた思いが、起業家へ転身させる契機に。

専業主婦からの転身という身近さと、自分のキャリアとライフイベントをブレンドさせながら、自分で自分の人生を選択する人のことを指す「ライフシフター」として、共感を呼び、彼女と出会う多くの人の第一歩を後押しする原動力につながっている。中でも、中学生ラジオパーソナリティとして活躍中の娘の理解が、母の活躍を加速化させている。多くの母親が新しいことに一歩踏み出す際に、子育てとの両立が不安になる中で、働く母の姿が子の試練や将来に向き合うきっかけとなるなど、お互いに活躍する女性として認め合える親子関係が築けており、これからライフシフトを目指す人々へのロールモデルとならう。布からアクセサリへと加工する過程の技術の特許を取得。第19回福岡デザインアワード受賞や公的団体からの助成など、起業家としての実力も評価されている。



株式会社プロデュース 代表取締役 中原 亜希子

【業種】福祉総合サービス業 【所在地】八幡西区本城1-11-27 【従業員数】77人(うち女性61人)

自社内にとどまらない人材育成や個別の事情に合わせた働きやすい環境づくりなど、会社経営に地域貢献を融合させた新しい経営スタイルの確立

業界として抱え改善が進みながらも、マイナスイメージが強い印象のある介護業界において、「人」や「地域とのつながり」を大切にするという基本的な姿勢とトップの柔軟かつ革新的な考えを貫いた結果が、経営面においても成果となって表れている。専門職でなくてもできる家事相当の仕事を作り出して、人手不足解消策としてだけでなく、短時間なら働きたい、社会とのつながりを持ちたいという主婦や高齢者のニーズにもこたえる形で、地域における新たな雇川を生んでいる。介護業界の将来を見据えた戦略的ビジョンと、だれもが働きやすく活躍できる環境づくりの実践は、業界への推進波及や影響度の観点から高く評価できる。



特徴的な取組み内容

- ・地域人材を活用することで、地域への雇用還元へとつながるとともに派遣外注費用も削減
- ・「子連れ出勤」を認めることで、土日や長期休暇、急な休校などでも社員が安心して仕事に集中できる環境を整備
- ・次世代女性リーダー育成のため、社内外の研修に参加させるなど積極的に人材に投資

仕事と生活の調和の実現は、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは
仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや介護との両立に悩む、など仕事と生活の間で問題を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは
誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を括る健康で豊かな生活ができる状態のことです。

女性活躍・ワークライフバランス表彰 受賞者一覧

第1回 平成19年度	団体部門	市長賞	医療法人財団 はまゆう会 新王子病院 株式会社グリーン 社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム 株式会社三井ハイテック
		奨励賞	医療法人 寿芳会 芳野病院 北九州商工会議所 女性会
個人部門	市長賞		高橋 素子(三萩野病院)
	奨励賞		緒方 有為子(福祉用具プラザ北九州)

第2回 平成20年度	団体部門	市長賞	医療法人 真鶴会 小倉第一病院 社会医療法人 製鉄記念八幡病院(旧 新日鉄八幡記念病院) 株式会社安川電機 社会福祉法人 容風会 総合福祉施設 おきなのだ 日本コンピュータ株式会社
		奨励賞	社会福祉法人 西日本至福会
個人部門	市長賞		杉井 千春(株式会社安川電機)
	奨励賞		本山 晴子(北九州ワーキングマザーネットワーク)

第3回 平成21年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 株式会社新菱
		奨励賞	コンダクト株式会社 株式会社不動産中央情報センター
個人部門	市長賞		籙田 淳子・修一夫妻(有限会社セムケンサービス)

第4回 平成22年度	団体部門	市長賞	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院(旧:九州厚生年金病院) 富士通コミュニケーションサービス株式会社 北九州サポートセンター 社会福祉法人 敬寿会 美咲ヶ丘
		奨励賞	
個人部門	市長賞		杉 信市(杉建築設計事務所)
	奨励賞		松井 真理子(医療法人真鶴会 小倉第一病院)

第5回 平成23年度	団体部門	市長賞	有限会社セムケンサービス 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 福岡県済生会八幡総合病院
		奨励賞	社会福祉法人 北九州あゆみの会
個人部門	奨励賞		荒木 晴美(TOTO株式会社) 川原 英明(北九州農業協同組合)

第6回 平成24年度	団体部門	市長賞	株式会社ソルネット 株式会社陽和
		奨励賞	株式会社ゴトウ 時計・宝石・めがねのヨシダ
個人部門	市長賞		伊藤 初江(新日鉄住金エンジニアリング株式会社) 杉井 隆造(株式会社安川電機)
	奨励賞		有馬 広海(福岡県済生会八幡総合病院) 南 充子(北九州ヘルパーステーション) 元重 香代(住宅設備施工会社)

第7回 平成25年度	団体部門	市長賞	みずほ証券株式会社 北九州支店
		奨励賞	山九株式会社 プラント事業部 学校法人清庭学園 清和幼稚園 株式会社不動産のデパートひろた
個人部門	奨励賞		郷田 郁子(株式会社ヴェンテージ)

第8回 平成26年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 龍玉会 洗心保育園
		奨励賞	社会福祉法人 もやい聖友会 株式会社 北九州銀行
個人部門	奨励賞		森 豪(食品等卸会社) 篠原 艶子(大門薬品)

第9回 平成27年度	団体部門	市長賞	株式会社ウキシロケアセンター
		奨励賞	株式会社スターフライヤー 三菱化学株式会社 黒崎事業所
個人部門	市長賞		梯 輝元(中屋興産株式会社)

第10回 平成28年度	団体部門	市長賞	セレーノ株式会社 日本鉄塔工業株式会社若松工場
		奨励賞	計測検査株式会社 株式会社安川ロジステック
個人部門	奨励賞		大谷 竜也(小倉経済新聞編集長) 北川 ひかり(株式会社フムフム)

第11回 平成29年度	団体部門	市長賞	西部ガス株式会社 北九州支社
		奨励賞	学校法人ひかり学園 管根ひかり幼稚園 株式会社ソル
個人部門	奨励賞		橋本 和宏(プレイヤーズオフィス太陽と月 代表)

第12回 平成30年度	団体部門	市長賞	株式会社デンソー九州 株式会社プロデュース
		奨励賞	異島電設株式会社
個人部門	奨励賞		綿瀬 麻意子(アクセサリーブランドオーナー)



女性活躍・ワークライフバランス表彰



仕事も個人の生活も大切に。
誰もが輝く！人生の充実をめざして



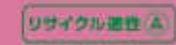
「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」は第11回より名称が変わりました。

北九州市 総務局女性の輝く社会推進室 女性活躍推進課 共催：北九州商工会議所

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

☎093-582-2209

北九州市女性活躍WLB表彰



北九州市印刷物登録番号第1907026C号

2019年度
北九州市 総務局 女性の輝く社会推進室

ワーク・ライフ・バランスは、仕事と生活に、よりいっそうの生きがいと喜びをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、子育てや介護、自己啓発の時間、地域との関わりを持てる。そんな調和の取れた生活を推進・実践している企業・団体や個人を表彰しました。

企業・団体部門
市長賞



株式会社不動産のデパート
ひろた

代表取締役 廣田 豊

- 業種／不動産業
- 所在地／八幡東区山王1-11-1
- 従業員数／116人(うち女性57人)

RPAなど先進技術の活用による大幅な業務改善に成功！
さらに雇用区分に関わりない適材適所の人材登用で女性活躍を後押し。
社員が自立した組織づくりを進める姿勢は業界の働き方改革トップランナー！

不動産業界の特徴である1～3月の繁忙期の時間外削減に取り組むため、業務を切り分け専門部署に移管するなどの分業化に加え、昨年からは、RPAを導入したことにより大幅な業務負担軽減に成功。仕事の質の向上や、柔軟な働き方のニーズに対応し、女性活躍の場を広げるだけでなく、業績アップも実現している。また、社員の提案を積極的に採用し、トップがやる気を後押し。継続的な連続休暇取得推進が男性育休取得100%達成につながるなど、先進的な取組と併せて、着実に働き方改革を推進している。

業務改善への取組、働きやすさとやりがいを両方感じることができる職場づくりの実践とその成果

は、業界への波及効果だけでなく、市内企業への影響も期待でき、高く評価できる。



特長的な取組内容 — 働き方の見直し 職務充実 キャリア形成支援

- これまで各店舗で行っていた物件の重要事項説明をPCやスマートフォンを活用し本社で行う「IT重説」や、子育て中の女性パート社員が主担当となって進めた「RPA導入」で見積書等の書類作成を自動化したことにより、大幅な業務効率化に成功(約1,470時間削減/年)
- 収益の軸である営業部門が、付加価値の高い業務に集中して取り組めるよう、本社に「営業支援グループ」を設置して業務を移管するなど「分業化」を推進。社員の負担軽減(約420時間/年)やスキルアップだけでなく、短時間勤務社員の積極的な雇用にもつながっている。
- 雇用区分等に関わりない公正・公平な人事評価「キャリアパス制度」や「メンター制度」の整備
- 社員提案制度である「業務改善表彰」でボトムアップされた改善策を積極的に実施し、社員のやる気を応援

産休・育休・時短勤務は当然のこと。生き方が多様化する中、社員の様々な事情に理解を示しダイバーシティ経営を実践！

社長自身が子育てしながら働くことに変容苦勞した経験から、女性が働くためにあるべき組織の姿を目指し、社員のワーク・ライフ・バランスを応援。

産休や育休、介護等により休業者が毎年在籍している状況にある。ICTによる仕事の見える化を進め、社員の事情に合わせてテレワークも活用しながら、業務の進捗を徹底管理。突発の休みが発生しても、残業せず仕事に遅れを生じさせない仕組みを確立。

また、各自の年頭目標や資格取得への挑戦に費用面から支援するなど、社員の成長を応援する体制が定着。

社員が楽しく働き続けられる環境で、日々成長しながら仕事の価値を高め、お客様から多くの「ありがとう」を集めて働きがいを感じられるよう、様々な

生き方、働き方を受け入れダイバーシティ経営を実践している。



特長的な取組内容 — ダイバーシティ イフボス

- 短時間勤務や出退勤時間を柔軟に調整するなど、子育てや介護との両立を支援
- システムツールを活用した情報共有を行い、在宅勤務者も含めた全社員の業務の進捗を管理。相互にフォローし合い、業務の品質を確保しながら全体量をコントロール
- 業務の技術取得のほか、ファイナンシャルプランナーやマネーなどの資格取得の支援により社員の成長を応援
- 社員の絆を深める「愚痴る会」の開催やストレス軽減のための福利厚生サービスを多数実施

企業・団体部門
奨励賞



有限会社
インテリジェントパーク

代表取締役 荒添 美穂

- 業種／情報サービス業
- 所在地／小倉北区片野2丁目16-15 2F
- 従業員数／6人(うち女性4人)

企業・団体部門
奨励賞



支配人 支社長 今村 一男

- 業種／保険業
- 所在地／小倉北区米町2-1-2 小倉第一生命ビル7F
- 従業員数／822人(うち女性775人)

第一生命保険株式会社
北九州総合支社

支社トップ自らが女性活躍を後押し。トップダウン、ボトムアップ双方向の取組を通じて女性活躍とワーク・ライフ・バランスを推進！

グループ企業全体における、ダイバーシティ&インクルージョン推進の動きを基に、支社長が「北九州で女性活躍 No.1を目指す」と宣言し、支社独自の取組を実施。週1回の早帰りや社員の労働時間を徹底して管理し、仕事の仕方も工夫しながら働き方の充実を図っている。

また、意欲ある女性社員の提案を取り入れ、社会貢献につながる社内向けの講座等を企画・実施し、取組内容は本社から全国の各支社に発信され、社員表彰で社長特別賞を受賞。全社挙げてSDGsを意識した取組を推奨している。他にも、各自パソコン20時強制シャットダウン、月1回「スマート休暇」有

給休暇取得などのワーク・ライフ・バランスの推進や、「女性社長塾」、「次世代女性経営塾」といった女性リーダー育成のための階層別研修など全社的な取組を進めながら、女性の働きやすい職場づくりを進めている。



特長的な取組内容 — 働き方の見直し キャリア形成支援

- 毎週水曜日を「ワークスマートデー」として早帰りを、うち月1回は「スーパー早帰り」として定時前の15時退社を奨励。さらに一定の時間帯の電話連絡を制限するなどして実行力を高めている。
- 役職ごとの毎月の総労働時間を「ボトムライン目標」として設定し徹底管理
- 昨年、男性育休取得100%を達成し、ワーク・ライフ・バランスの推進が実績となって表れている。
- 2018年に福岡県と包括連携協定を締結したほか、北九州市の「認知症サポーター養成講座」や「AED講習」の女性社員発案による実施など、社会貢献と女性活躍を推進し、SDGsの達成に向けて取組を進めている。

個人部門
奨励賞



■住所／小倉北区
■職業等／
美味歯科クリニック院長

森下 泰弘

自身の経験から子育て世代の女性活躍を推進！
地域の将来も見据えながら、仕事も家庭も両立するイクボス！

小倉北区で歯科クリニックを経営。多忙な勤務医時代、結婚・出産といった事情で離職していく多くの有能な歯科衛生士を目的の当りにしてきたことから、子育てしながら働ける職場環境づくりと自身の働き方改革を念頭に開業した。スタッフの子どもの迎えの時間や地域の患者の年齢層を考慮して、診療時間は8時から17時までに設定。子連れ出勤を認めたり、スタッフの家庭の事情に合わせた柔軟な勤務シフトや相互にカバーできる体制を構築。併せて、医療品質を確保しながら、診療時間の厳守や業務効率化を実践。「働く人も家族と同じ」という考えのもと、妻が働くにはどうあるべきかを想定し、従業員満足と顧客満足のパラダイムを両立しながら働き方を追求している。また、地域に根差した診療所を目指し、来院が難しい方の口腔内ケアが重視されにくい現状を踏まえ、ケアマネジャーの資格を取得し、訪問診療にも力を注いでいるほか、妻とともに町内会の活動を行うなど地域にも貢献している。

自身は妻と娘3人の5人家族。毎日の夕食を共にしたり、家事を率先して行うようになったことで子どもたちの笑顔が増え、仕事のストレスも減ったと実感している。ス

タッフにも同じ思いをしてほしいという熱意を持ったイクボスである。歯科衛生士の人材不足が課題となっている中、女性活躍を推進する歯科医師のイクボストップランナーとして、その取組がスタッフのキャリアアップやスキルアップにどのようなつながっていくか、訪問診療のニーズが高まるであろう地域の将来も見据えた経営ビジョンの達成と今後の活躍に期待したい。



仕事と生活の調和の実現は、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。

事業の
主旨

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは

仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや介護との両立に悩む、など仕事と生活の間で課題を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を有する健康で豊かな生活ができる状態のことです。